# 京都府合気道連盟通信

KYOTO PREFECTURAL AIKIDO FEDERATION NEWSLETTER Vol. 9 2022 WINTER / SPRING

〔発行日〕令和4年2月10日 第9号 〔発行〕京都府合気道連盟 http://www.fu-aikidorenmei.com/

府連通信 9

2022/1/10 令和4年 鏡開き式・武道始め（日本武道館）にて

令和４年1月10日、寒空の東京九段下、北の丸公園内にある日本武道館において、コロナ感染第６波の懸念される中、恒例の鏡開き式、武道始めの式典が行われました。

受付を済ませて会場内に案内されると、戦国時代の武将の鎧兜をまとった大勢の侍衆が式典のリハーサルを行っているところでした。

日本武道館開館以来、武道修業の出発にあたる年頭行事として行われる、鎧着初め、三献の儀、出陣という儀式は、鎧兜の侍や武家の従事たちが場内を行進し、出陣、凱旋、元服式を再現する見応えのある厳かな式典です。

過去の大将軍、副将軍役として、昭和51年には植芝吉祥丸二代目道主が大将軍、また平成13年には、植芝守央三代目道主が副将軍役として、代表大役をこなされていらっしゃいます。

この日に合気道で表彰されたのは、武道功労者として全日本合気道連盟の尾崎理事長、そして武道優良団体としての京都府合気道連盟でした。

新型コロナウイルスの感染防止対策として入場制限があったため、観客席の人はまばらでしたが、「武道家」としての責任の重さを改めてずっしりと感じた1日であったことを皆様にご報告しておきます。

以下、京都の伝統工芸西陣織の美しさにたとえ、京都府合気道連盟を代表して、合気道新聞に寄稿させていただいた内容をご紹介させていただきます。

今年はどんな年になるのでしょうか。皆さんと稽古研鑽ができる日が来ることを切に願っております。

**「武道における横のつながり、しなやかに輝ける緯糸のように」**

武道家においては、一人一人が主導的に行動することを求められると同時に、相手を敬い、弱者を労わりながら調和社会への実現に向けて献身するという大切な役目を担っていると思います。それには、社会のルール規律を大切に守りながら、柔軟性を持って難局に対応していかねばなりません。

この度の令和４年1月、日本武道館「鏡開き式、武道始め」式典において、合気会のご推薦により、日本武道協議会から「武道優良団体」という栄誉ある賞をお授け頂きました。

私たち京都府合気道連盟２３団体の合気道家一人一人は、開祖、二代目、三代目道主、合気道本部道場という縦軸の要にある合気道の基本の教えを守り、同時に道友である連盟の仲間と稽古交流をしながら、信頼し合うことのできる関係を築いていけるよう努力しながら１０年の月日を歩んできました。そして今からは、この栄誉を実際に社会に還元していかなければなりません。各道場のそれぞれの師、先輩の縦軸の繋がりを敬い、開祖に繋がるその経糸の束をより強靭にしていけるよう稽古に励みます。同時に、道友である連盟の緯糸の仲間と交流を深め、しなやかで美しい社会を形成していけるよう、常に感謝の気持ちを持って合気の道に精進して参りたいと思います。

このような機会をお授けいただいたことに、心より御礼申し上げます。

京都府合気道連盟 理事長 岡本洋子

# Dojos 連盟道場紹介

**京都府合気道連盟に加盟されている道場の活動や特色などをご紹介いただきます。**

**●井後佐江子（井後道場）**
**洛北にある現代の寺子屋ー文武両道ー**

今年で24歳になる井後道場です。一般の部25名、少年の部45名(3歳～15歳)と育っています。左京区二軒茶屋の稽古日(日/月/水)、イオン五条はな(木)、室町道場(金)とそれぞれ楽しく稽古をしています。

日頃の稽古では、合気の素晴しさを体感しながら、基本の技を大切に、その中に含まれる奥義をいつか感じ取れるように、くり返し、くり返し鍛錬しています。

40年近く鞍馬山とのご縁をいただき、大寒の頃の一泊鞍馬山修行、9月15日の義経祭での奉納演武と、鞍馬寺信楽香仁管長様にお導きいただいております。

この度、大河ドラマ『鎌倉殿の13人』に因んで、義経の足跡をたどる ”新日本風土記” NHK-BSプレミアム　2月25日(金)夜9時～10時30分　に井後道場が登場することになりました。小学校1年生から、「気持ちだけはいつまでも牛若丸」の喜寿になる道場長までが鞍馬山僧正ヶ谷や、井後道場で日頃の稽古を披露しています。どの様な編集で仕上がるのかわかりませんが、是非ご覧下さい。

合掌

# Report 合気道「開眼の地」あやべ パネル展　報告

**●塩尻忠臣（綾部市合気道協議会事務局）**

10月24日(日)午前10時から午後4時、グンゼ「集蔵」にて“合気道「開眼の地」あやべ パネル展”を開催いたしました。

当日は.晴天に恵まれ、隣では満開の「バラ展」の催しもあり、市内外の人々が訪れました。当パネル展には156名の入場者が有り、盛況裡に開催できましたことをご報告いたします。

綾部市長(親娘)、教育長(夫婦)、市会議長等のプライベートな入場で観覧いただきました。

開祖の田辺生誕、綾部在所7年の行状、吉祥丸2代道主の幼年期(6歳まで在綾)、年代ごとに～東京～岩間まで、写真と記事で分かり易いパネルで紹介しました。

植芝盛平翁の往年の雄姿のビデオも来場者に見て頂き(私たちも見入っていました)、実物をみて堪能されておりました。稽古生の子供たちも多勢親子で駆けつけて、和やかな会場の雰囲気の一躍も担ってくれました。

合気道を愛好しているものの、歴史的事実をおぼろげに知っていたぐらいだけに、今回、正確な検証ができたことを主催した私達も喜んでおります。世界140か国が認める武道として今後さらに発展していく「合気道」が開眼の地あやべ(聖地)としての応対ができる基礎の一歩が踏み出せたものと思います。

会場には京都市内道場の先生もご家族で来場くださって激励頂いたり・・・メールでたびたび何かと心配して頂いた大先輩の先生には本当に涙の出るくらいうれしく思っております。ありがとうございます。

(パネル展を終えて熱気冷めやらず回顧しております。)

# Report

## 中学校武道授業／講習会 報告

**●川勝　優（吉照塾）**

12月13日(月)、南丹市立殿田中学校の武道授業に、合気道の講師として３名で参加しました。各学年３０数名(全校生徒約100名)、学年ごとに１時間(計３時間)の授業を受け持ちました。

生徒には「体」の動きだけでなく、「心」の在り方が大切であることを伝えました。

一つは、合気道は他者との争いが無く、稽古を通じてお互いを高め合い成長させること、そのためには「自分の長所、相手の長所を見つけて伸ばすこと。相手の短所を誹謗中傷する暇があったら長所を見つけること」。そうすれば争う気持ちも起こらない、ということ。

そして、少し「痛い」技にも果敢に挑戦してくれたときには、「何にでも恐れず体験すること、体験が宝になる」「これから日本を世界を背負って立つ皆さんに、いろんな体験を積んで、堂々とした姿であって欲しい」ということ。

今回担当していただいた西村教諭は授業の最後に「合気道の体験授業が、これからの人生に何か役立つことに繋がることを願っています」と結ばれました。生徒たちの真剣なそして楽しそうな表情を見て、青少年育成に合気道が果たす役割を改めて感じ、有意義な時間となりました。

**●越智泰造（合気道 宇治祥平塾）**

昨年11月26日に南宇治中学校(以下南宇治中)にて武道講習会が開催されました。南宇治中では、毎年教育委員会に各種武道講習会の開催を依頼しており、今回は合気道という事で、私共が指導を担当する事となりました。

講習会自体は体育授業の一環である事に加えて、全員が合気道初心者という環境下での指導は私にとっては初めての経験でした。まずは安全第一を念頭に、学生さんに合気道に興味を持ってもらう事を主眼においた指導プランと配布物の準備を行いました。

幸運にも南宇治中の体育の授業では毎年柔道が実施されていることもあり、当日は参加者150名全員が柔道衣着用で柔剣道場に集まって頂くことができました。授業の最初に個人的に驚いた事としては、合気道を知っている人もしくは見たことがある人に挙手をお願いしても、ほぼ誰からも手が上がらなかった事でした。あたらめて中学生に対する合気道の認知度が低い事を知りました。

講習会の流れとしては、私共から合気道の演武を披露した上で、合気道の特徴や歴史、正座、礼法の説明の後、後ろ受け身、正面打ち一教、片手取り四方投げ、呼吸法等を中心に実際の技の手順を一緒に行う事ですすめました。

今回、宇治祥平塾道場生の有段者４名が指導補助に参加してくれたので、何とか目が行き届きましたが、一人で初心者30名の指導となっていたとすると手が回らなかったはずです。

南宇治中の体育の先生を含めて、学生さん達の合気道の講習会中の印象としては、合気道を知らないだけあって、『試合がない』という点を最初に説明しただけでかなり予想外だったようです。また、技や呼吸法の指導の際にも、力に頼ることなく技が構成される考え方や、不思議と崩される感覚を参加者全員が楽しく反応している様にみうけられました。

当日の５クラス分の授業を怪我人を出す事なく無事終了した後に、南宇治中の校長先生にご挨拶に伺った際にお聞きしたところでは、現在宇治市内の中学校では体育で柔道を選択してはいるものの、宇治市内には既にどこも柔道部が存在しない状態との事でした。南宇治中としては少子化という事情もあわせて、学生さん達に武道に興味をもってもらう機会として、講習会の開催を教育委員会に毎年依頼しているという背景も伺う事ができました。

今回の武道講習会の私の所感としては、中学生の視野に合気道が入っていない事実をあらためて認識した事と、実際に合気道を体験した中学生が楽しそうにしていた”生”の反応を見ることができたのは収穫でした。将来的な期待としては、今後は各中学校から教育委員会に合気道の武道講習会の開催打診を待つだけではなく、教育委員会に何かしら働きかける事で、京都府下の中学校に合気道の講習会的な機会が得られれば、中学生への合気道認知の一助になるのになぁ。と感じ入った次第でした。貴重な機会を頂きありがとうございました。

# Upcoming events

## 行事予定

2月19日　令和3年度 第2回理事会／評議員会
5月28日　第59回全日本合気道演武大会（日本武道館）
11月6日　府連大会（入江嘉信本部道場指導部長）